

第 7 期振り返り資料の体裁等について（案）

振り返り資料は、第 7 期区自治協議会の活動の記録と、第 8 期への引継ぎ資料として作成する。

1 全体の構成

- 構成は、「はしがき」（会長会議座長名）⇒「北区～西蒲区」（各会長名）⇒「（仮称）新型コロナウイルスによる地域課題に関する情報共有」

2 区ごとの構成

- 構成は、「1 はじめに」⇒「2 取組内容・成果・課題」⇒「3 おわりに」
- 「2 取組内容・成果・課題」の記載項目は、「(1) 全体会について」⇒「(2) 部会・提案事業について」の 2 つ
- 「2 (1) 全体会について」では、会議運営、建議要望事項、区委員研修会などにかかる取組み・成果・課題について記載するものとする。
- 「2 (2) 部会・提案事業について」では、各部会の所掌分野・審議内容・運営上の工夫等とともに、取組んだ提案事業の目的及び名称程度を記載するものとする。
※提案事業については、「3 おわりに」の後ろに 2 年分の事業評価書を添付するため、成果・課題は記載しない。
※評価書の確定は 3 月末であるため、それまでは振り返り資料（暫定版）とする。
- 「3 おわりに」では、「2 取組内容・成果・課題」で記載した事項以外の課題・引き継ぎ事項や、次期区自治協議会への期待等について記載するものとする。

3 体裁・表現について

- A4 縦。余白は上下左右 25mm
- 標題は MS ゴシック（見出し）16 ポイント 太字
- 会長名及び各見出しは MS ゴシック（見出し）12 ポイント 太字
- 上記以外は HG 丸ゴシック M-PRO 12 ポイント（記載項目や事業名など強調したいところは MS ゴシック（見出し）太字）
- です・ます調とする。
- 表記は「区自治協議会」とする。（「自治協」は×）
- 「、」を使う。（「,」は×）
- 数字は半角，アルファベットは全角とする。
- 見出しについて，1,2,3 の間は 2 行，(1),(2)…の間は 1 行，ア,イ…の間は 1 行空ける。それ以外のところは，長くなり読みづらいところを改行する。
- 「1」、「(1)」以降の見出し記号は、「ア」→「(ア)」→「◎」→「○」の順に使用する

4 その他

- 全区揃った後，全体を通した微調整を市民協働課で行う。

〇〇区自治協議会（第7期）を振り返って

〇〇区自治協議会会長 〇〇 〇〇

1 はじめに

・・・

2 取組内容・成果・課題

(1) 全体会について

ア 「〇〇〇に関する提言書」の提出

〇〇区の地域課題である〇〇の解決を図るため、〇〇の更なる促進を趣旨とする「〇〇に関する提言書」をまとめ、令和〇〇年〇月〇日に市長へ提出しました。

〇〇については、従来から「〇〇」「〇〇」などの声が地域コミュニティ協議会選出委員から出ていたことを踏まえ、〇〇特別部会を設置し専門家を交えた十分な協議を経たうえで、市へ提言したものです。

本提言書に基づき、令和〇〇年には「〇〇促進事業」が新たに事業化されるなど、〇〇の充実化が図られました。

一方で、未だ〇〇という状況は続いているため、今後も継続的に取組みを進めていくことが必要です。

イ 会議運営方法の見直し

審議の活性化を図るため、・・・

(2) 部会・提案事業について

ア 第1部会

第1部会は、〇〇、〇〇、〇〇分野を所管する部会です。

第7期では、近年特に問題となっている〇〇の解決を図るため、〇事業を実施し、また、長年潜在的な課題となっていた〇〇の改善を図るため、〇〇事業に主に取り組みました。

イ 第2部会

第2部会は、・・・

イ 第3部会

第3部会は、・・・

提案事業の具体的な成果・課題等については、添付の事業評価書を参照ください。

3 おわりに

区民等と市との協働の要として、多様な意見の調整や取りまとめを行っていくためには、幅広い世代から参画していただくことが重要ですが、〇区自治協議会では、特に若い世代の委員が多くありません。子どもたちが将来にわたって住み続けたいと思うまちづくりを進めるためにも、〇〇や〇〇を通じて、若い世代から興味をもってもらい、また委員として参画したいと思われるよう工夫をし続けていくことが望まれます。

また地域課題が複雑化・多様化している中、全ての課題について審議を行うことが困難になっています。そこで、日ごろから区民等の意見をよく汲み取るよう心掛けつつ、区民等のニーズに沿った審議テーマ・事業の絞り込みを図ることで、効率的・効果的に活動を行っていく必要があります。

第8期では、このような点を踏まえつつ、協働の要として更なる活動の活性化が図られることを期待します。